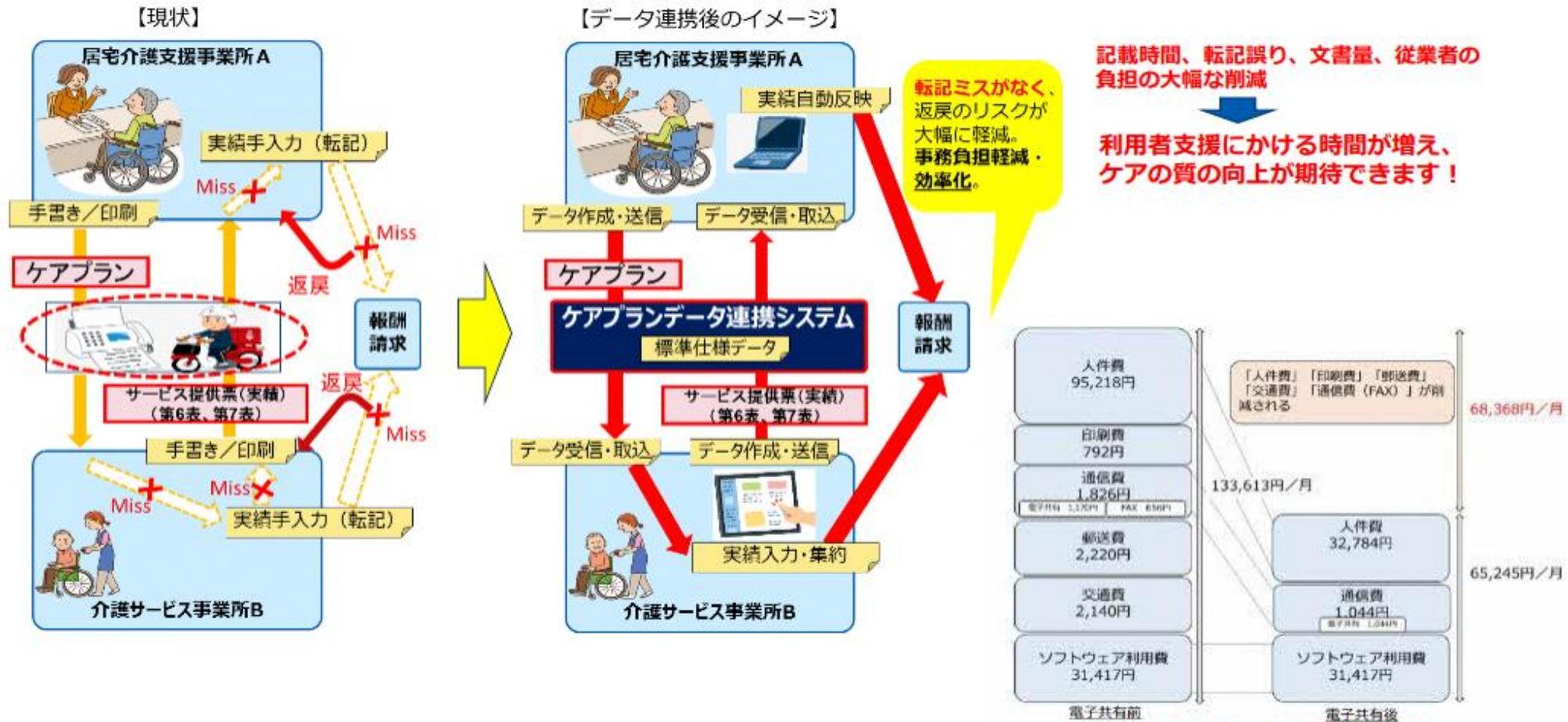


# ケアプランデータシステムについて

# ケアプランデータ連携システムがスタートします！

これまで主にFAXでやり取りされ、介護事業所の負担が大きかったケアプラン（提供票）を、クラウド上で安全に電子データのやり取りをするシステムが出来ます！

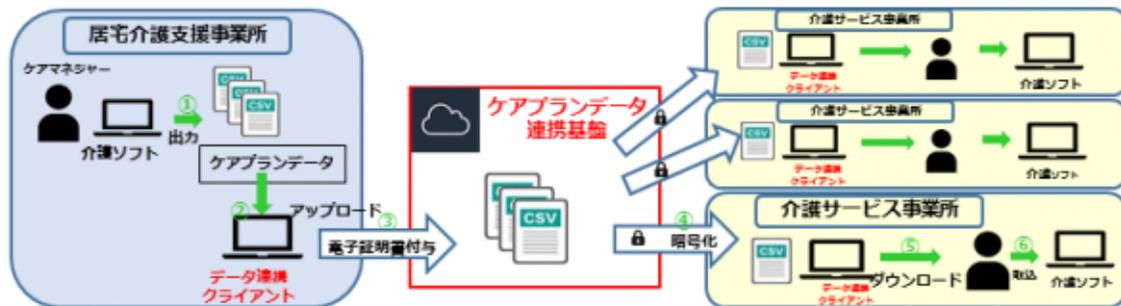


国民健康保険中央会で構築中。

令和5年4月サービスインの予定。（令和5年2月～パイロット運用予定）

ケアプランのデータ連携が実現すれば、約81万6千円/年のコスト削減が期待できます。

# ケアプランデータ連携システムの概要



## 【必要な環境】

- パソコン（Windows10以降）
- 厚生労働省のケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフト
- 介護給付費請求に使用する電子証明書
- ケアプランデータ連携クライアント（本システム利用申請後にダウンロード可能）

## 利用料金

- 1事業所あたりのライセンス料は年間21,000円（税込み）です。支払方法は、電子請求の証明書発行手数料と同様、国保連合会に請求する介護給付費からの差引きを可能とします。

## ○提供票（実績）の連携



※赤字部分が本システムの範囲を指します。

## 【運用開始までのスケジュール】

令和4年度							令和5年度	令和6年度
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
システム開発					パイロット運用		本稼働	

- 令和5年2月より、自治体を限定した形でパイロット運用を予定しています。
- 本稼働後も、必要な機能改修を実施予定です。

出典: 電子申請・届出システムについて  
厚生労働省 老健局高齢者支援課  
介護業務効率化・生産性向上推進室